

# 令和2年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	多久市立東原産舎東部校 児童数 310人	担当者名	荒木智子 渡辺暢子
住所	郵便番号 846-0012 佐賀県多久市東多久町大字別府3182	電話番号	0952-76-2002

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I.取組前の宣言内容

宣言	目標	「おうちじかん」も「図書じかん」も楽しもう！
	取組期間	令和2年5月14日 ～ 令和2年11月30日

※令和2年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和2年11月30日までの取組みとする。

## II.取組後の評価

評価	取組人数	357人	実施日数	126日	読書冊数	28791冊	連携した団体数	1団体
	取組内容（概要）	<p>【年間を通しての取り組み】</p> <p>○感染症予防対策 ○展示コーナー ○東部校年間目標冊数の設定</p> <p>○読書ノート（前期課程） ○読み語り（10月～・前期課程）</p> <p>○新着図書案内のクラス掲示（後期課程） ○本の予約（全課程）</p> <p>【図書館まつり・読書週間の取り組み】</p> <p>図書館に集まらず個人でチャレンジできることを考え工夫しながら開催した。</p> <p>○図書館まつり（7月）読書の木、校内へのクイズ掲示、分類ビンゴ、くじ引き</p> <p>○読書週間（10～11月）プラス1冊デー、読書週間すごろく、本のリクエストBOX設置、目標冊数達成カード（後期課程）および、読書の星（全課程）の開始</p>						
	工夫したこと	<p>今年は感染症予防対策で図書館の利用に制限があった。その中でもどうしたら読書に親んでもらえるか考えながら取り組んだ。図書館まつりなどはもちろん、日々の業務でも、棚の掲示や配架を整え、展示コーナーを拡充することなどで、限られた時間でもいろんな本に出会えるよう工夫した。</p>						
	取り組んだ感想	<p>図書館利用に制限がある中、貸出冊数は伸びが見られた。図書館が好きと言ってくれる児童生徒も多いので、利用制限でなるべく窮屈な思いをさせないように、展示コーナーや環境整備に配慮しながら取り組んだ。これからも居心地の良い図書館作りを心掛け、たくさんの本との出会いのお手伝いをしていきたい。</p>						
	これまでの取組や今後の取組予定	<p>「図書館まつり」は児童生徒も楽しみにしているので、今年も活動できてよかった。「サザエさんクラブによる読み語り」も、10月から再開することができた。また当校で継続して行っている「ばったり図書館（校内のいろんな場所に本をおいて読書に親んでもらう）」を1月に行う予定である。今までとは違った形になっても、児童生徒が楽しみにしている活動をどう継続していくか、新しいことをどう取り入れていくかを考えながら活動している。これからも児童生徒が本の世界を楽しめるよう、学校図書館を身近に感じ、より読書に親んでもらえるよう努めていきたい。</p>						

※本報告書は簡潔に記述し、A4サイズ2頁以内とし、取組内容が分かる資料（写真、イラスト、

## 【年間を通しての取り組み】

### ○感染症予防対策

- ・ポスター、床、机上への案内掲示。換気や消毒など、管理職や養護教諭に相談し適宜対応した。
- ・飛沫防止カーテンの設置

…枠組みは業務員が作成。透明なカーテンを貼る作業を学習委員に手伝ってもらい設置した。このカーテンはその後、季節の飾り付けなどを学習委員と共に、環境整備に努めている。



### ・利用時間の設定

当校は1年生から9年生まで同じ図書館を利用する。今までは、読書の時間以外、20分休みと昼休みは自由に利用ができた。しかし、今年は密を避けるために休み時間毎に利用する学年を設定して対応した。

休み時間	1時間目の後	2時間目の後	3時間目の後	昼休み	5時間目の後
学年	1、2年生	6年生	5年生	7、8、9年生	3、4年生

### ○展示コーナー

前述のように、今年は利用方法や時間がどうしても制限された。しかし、その中でもより多くの本と出会えるように、季節や行事毎に展示コーナーを作成。利用制限により使用できない机にも展示を行い、空間を有効活用できるようにした。児童生徒も「こんな本があったの」と興味をもち、貸出につながった。



### ○年間目標冊数

1・2年生…150冊 3・4年生…130冊 5・6年生…100冊 7・8・9年生…30冊

当校では上記のように学年毎に年間目標冊数を設定している。達成者には賞状などを贈っている。

○読書ノート(前期課程) … 県まなび課より頂く読書ノートを活用。達成者にはしおりをプレゼント。

○読み語り(10月～・前期課程) … 学校応援団「サザエさんクラブ」により月1回開催。

今年度は10月からの取り組み。フェイスシールドをつけてもらい実施した。児童も喜んで聞いている。

○新着図書案内(後期課程) … 後期課程は図書館と教室が遠いため、各クラスに新着図書案内を配布。学習委員に掲示してもらいお知らせした。それを見てきてくれる生徒もいた。

○本の予約(全課程) … 図書館に来る機会も限られるため、本の予約ができるようにした。人気の本に予約が集中することもあるが、順番を守り、トラブルを回避することにもつながっている。

# 【図書館まつり・読書週間の取り組み】

## ○ 図書館まつり（7月）

みんなで集まるイベントは避け「密にならないようにどんなことができるか？」と学習委員会の児童生徒も自主的に考え取り組んだ。

- ① 読書の木 … おすすめの本のPOPを書いた人はプラス1冊券がもらえる。
- ② クイズ … 密にならないように校内のいろんなところにクイズをはる。
- ③ 分類ビンゴ … 個人でチャレンジでき、分類の棚に人が分かれ、混雑を回避できる。いろんな分類の本を借りることで読書の幅が広がる。
- ④ くじ引き … ②と③をセットにしたスタンプカードを作成 ⇒条件をクリアした人はくじ引きに参加できる。くじに参加できる日を学年毎に分けて、密にならないように工夫した。



①読書の木



②校内に貼ったクイズ



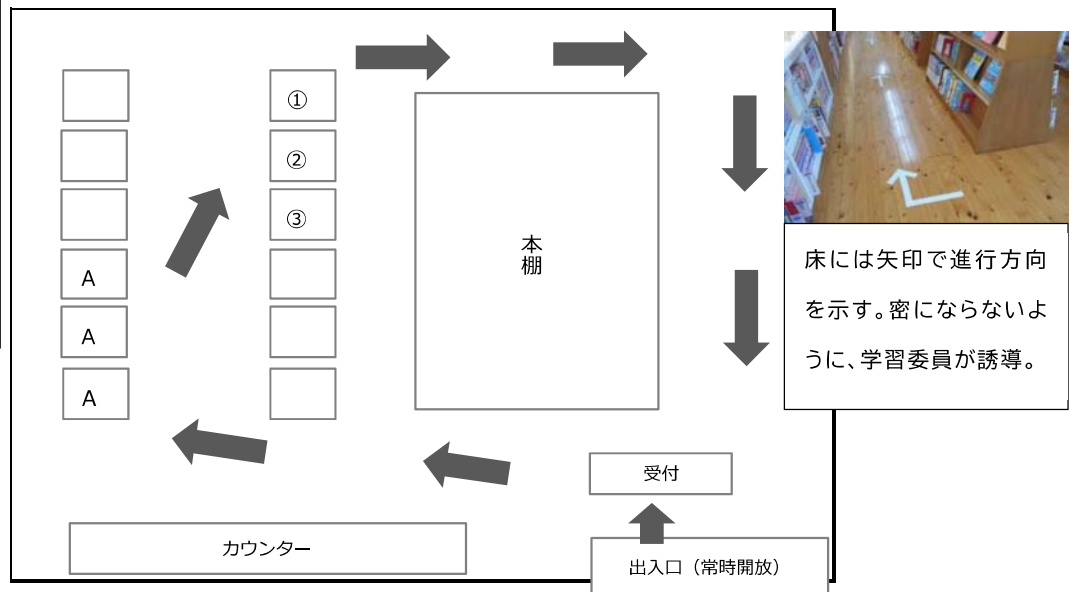
②と③をセットにしたスタンプカード

### くじ引きの様子

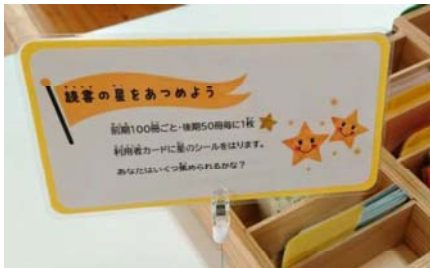


2. 番号の机には景品が並べてある。どれがいいか学習委員に告げる。委員が景品を渡す。終わった人は混みあわないよう、速やかに退室。

1. 受付をしたら、Aの机へ案内。カードが3枚並べてあるので「真ん中のカード」など学習委員に告げ、委員がカードをめくる。その番号の机へ進む。（カードはその都度シャッフル）



（振り返り）例年とは違う内容だったが、児童生徒は楽しんで参加していた。分類の棚も少しずつ浸透しているように感じる。くじ引きの日は、学年毎に実施したものの、一度に多くの子が来館したが、動線の確保や学習委員からの呼びかけもあり、過密状態にはならずに進めることができた。



## ○ 読書週間（10～11月）

みんなで集まるイベントは避けて行った。行事との兼ね合いもあり、より個人でゆっくり取り組める内容を考え、実施した。

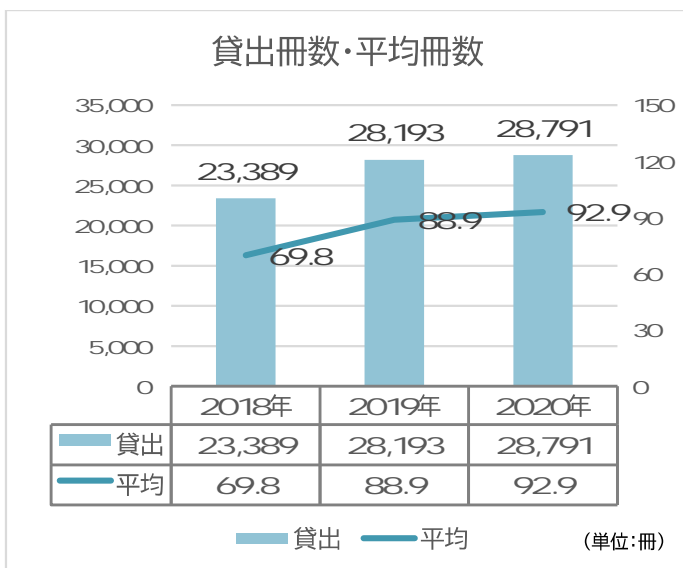
- ① プラス1冊デー … 読書週間の始まった日から3日間実施。
- ② 読書週間すごろく … 学年毎に難易度が違うものを用意。ゴールしたらプラス1冊券がもらえる。
- ③ 本のリクエストBOX設置 … 本の紹介冊子などと一緒に、リクエストBOXを設置した。

全課程向けに「読書の星をあつめよう」、後期課程向けに「目標冊数達成者カード」という取り組みをこの読書週間から始めた。年度末まで引き続き実施する予定である。

「読書の星」は、前期課程は 100冊毎、後期課程は 50冊毎に1枚、利用者カードに星のシールを貼っていく。前期課程の児童は星が増えていくのが楽しいようで、後期課程の生徒も星が貼ってあると「すごい！」と喜んでいる。

（振り返り） 読書週間すごろくは1～3年生の参加が多く、楽しんでくれている。読書の星や目標冊数達成者カードは、どの学年も好評。「自分は今何冊借りているの？」と読書活動の励みになっているようである。

## 【読書チャレンジを振り返って】



今年は図書館の利用に制限があり、読書の時間が思ったように取れない学年もあった。しかし本の貸出返却はできたので、『「おうちじかん」も「図書じかん」も楽しもう！』という目標を設定し、いろいろな本に出会い読書を楽しむ機会はつくれるように、できることを考えながら読書チャレンジに取り組んだ。

左のグラフは、取り組み期間（5月14日～11月30日）と同じ時期の、貸出冊数と一人当たりの平均値を表したものである。今年は休校などもあり、今までとは違う対応に苦慮した面もあったが、

貸出冊数の伸びが見られた。目標冊数も全校 310人中177人が達成しており、あと数冊で達成する児童生徒も多い。おそらく今年度中には達成できる子も多いと思われるので、こちらからも声かけをするなどして、達成した喜びを感じてもらいたい。これからも児童生徒が楽しんで読書活動に親しんでくれるように心がけていきたい。